

発行／新潟県岩室村役場



「昔は縁起物として、間瀬のどの家でも繭玉飾りを作ったんですが、今ではうちを含め2〜3軒でしょうか。すっかり珍しいものになってしまいましたね」と桐林さん。

岩室 みとある記

56

「繭玉飾り」

間瀬

豊漁と家内安全を祈って部屋を飾る小正月(旧暦)の習わしの繭玉飾り。最近はずっかり珍しい光景になってしまいました。が、間瀬三区の桐林弥吉さん(67歳)の家庭では、特大の繭玉飾りを毎年作っています。この繭玉飾りは、近くの山から繭玉の木と呼ばれるミズキの枝を切り出して、奥さんと一緒に約二時間かけて飾り付けたといいます。宝船、タイ、大判小判、野菜、俵の山、えびす……さまざまな縁起物がつり下げられます。これらの飾りは今ではほとんど作っている店も少なくなり、正月の巻町の市や吉田町の市で買いためたものとか。漁業をしている桐林さん宅では、この繭玉飾りを縁起に「今年も豊漁で安全操業が出来れば……」と、いま夕「漁に精を出しています」。



岩室村の人口
(2月1日現在)

■ 男 4,808人 (-5)	■ 女 5,333人 (-3)	■ 合計 10,141人 (-8)
■ 世帯数 2,559世帯 (-1)		(住民基本台帳から)